

2024年度 冬山遭難防止研修・講習会報告

1. 開催日 2024年12月7（土）、8日（日）
2. 開催場所 埼玉県県民活動センター
3. 参加者 参加者 25名 二日間延 35名（除く、講師・スタッフ）
4. 講師 恵秀彦氏、山新真人氏、佐藤久美子氏
県警山岳救助隊：高島氏、小宮氏
5. 内容

今回は、登山者の高齢化が進んでいることから、高血圧対応及び山岳医療活動報告も行いました。

一日目は、山での応急手当についての講義・実技を行いました。途中で山での高血圧についての講演と山岳診療ボランティア活動講演

2日目は、午前に埼玉県警山岳救助隊講演、午後は応急手当シュミレーションを行った。



6. 参加者感想

2日間にわたりファーストエイドの基礎、転落、滑落による外傷処置、捻挫や骨折の評価と応急手当、冬季登山における寒冷障害、凍傷、低体温、最後にはそれらを統括してグループごとに救急シュミレーションを行いました。

このシュミレーションは講師陣が3つのパターンの傷病者役となりグループごとに状況評価～救助要請までを行いました。救助者全員で知恵を出し合いストックやザック、タオル等手持ちのもので工夫して処置を行いました。その場の状況やある物を使ってみんなで懸命に処置をしたので正解はないと思います。その後全員でほかのグループの症例を共有し、行った処置や工夫した点など発表しました。自分では思いつかないような知恵で処置をしていて感服しました。これが一番勉強になったかも！？

これまで何度か登山における救急処置を学んできましたが「訓練でできないことは本番でできない」を教訓にいざというときに冷静に対処できるよう今後も継続して研修会に参加していきたいと思っています。

無名山塾 橋本昭子